

上手な がん治療の 受け方

日時
2009年9月23日 **水・祝**～
2010年3月20日 **土**
13:30～15:40 (3部構成・休憩あり)

会場
三島市民文化会館大ホール
(JR三島駅南口から徒歩3分)

定員 / 1,000人 高校生以上
受講料 / 6,930円 (7回分、テキスト代込み)

7回シリーズで受講してください。1回ごとの申し込みはできません。
高校生は無料ですが、事前申し込みが必要です。

年間延べ20万人の外来患者が訪れ、3,000件以上の手術を手掛ける静岡がんセンター。患者や家族の声に耳を傾け、国内屈指の最先端医療を施しています。その最前線に立つ医師、看護師らから、検診、診断、がんと向かい合うための心構え、治療、緩和医療を体系的に学び、がん治療の受け方を考えます。毎回、「質疑応答・タウンミーティング」の時間を設けるほか、アンケートで質問を募り、がんセンターと受講者の「双方向の講座」を心掛けます。



山口 建氏 (がんセンター総長)

がんは命を脅かす大変な病気です。でも、上手に治すことも可能になってきました。がんにかかり、新たな人生の道しるべを見つけた人もいます。そういうことを学んでいただけたらと思います。



鳶巣 賢一氏 (病院長)

生きている限り、がんという病気と無縁ではありません。この病気と、どのように向かい合うか？がんの知識を得て、向かい合う心構えについて考える機会にしましょう。

開催日	[第1部] 13:30～14:10	[第2部] 14:20～15:00	[第3部] 15:10 ～ 15:40 質疑応答・ タウンミー ティング
第1回 9月23日 水・祝	[第1部] がんと向き合うための心構え	[病院長] 鳶巣 賢一	
	[第2部] もしもがんになったら～看護の立場から～	[看護部長] 青木 和恵	
第2回 10月17日 土	[第1部] 緩和ケアの現状	[緩和医療科 医長] 大坂 巖	
	[第2部] 臨床試験(治験)って何?～新しい薬ができるまで～	[臨床試験支援室 臨床試験コーディネーター] 齋藤 裕子	
第3回 11月23日 月・祝	[第1部] 肝臓がんの最先端治療-「切らない」という選択肢	[画像診断科 医長] 新橋 剛	
	[第2部] 陽子線治療の可能性	[陽子線治療科 部長] 村山 重行	
第4回 12月23日 水・祝	[第1部] 肺がんの診断から手術まで	[呼吸器外科 部長] 近藤 晴彦	
	[第2部] がんの放射線治療	[放射線治療科 部長] 西村 哲夫	
第5回 1月16日 土	[第1部] ここまで来た 胃がんの内視鏡治療	[内視鏡科 部長] 小野 裕之	
	[第2部] 化学療法の現状	[消化器内科 部長] 朴 成和	
第6回 2月20日 土	[第1部] 乳がんを早期発見・早期診断するための正しい知識	[生理検査科 医長] 植松 孝悦	
	[第2部] がんとリハビリ～術前と術後～	[リハビリテーション科 部長] 田沼 明	
第7回 3月20日 土	[第1部] 早期発見～ひどくなる前に～	[画像診断科 検診センター 医長] 宮木 裕司	
	[第2部] 身体と心の健康法	[総長] 山口 建	

【申し込み方法】

はがき、Fax、E-mailで、①住所 ②氏名 ③生年月日(西暦) ④年齢 ⑤性別 ⑥職業 ⑦電話番号・Fax番号を記入の上、
1、〒422-8670(住所記入不要) 静岡新聞社・静岡放送事業局「静岡がんセンター公開講座」係
2、Fax. 054(284)9031
3、E-mail : sbs-jigyo@shizuokaonline.com ※件名に「がんセンター講座」と明記してください。
後日、申込者の皆さまには郵便で、振込み方法などの案内を送ります。三島市民文化会館でも受講申し込みができます。

【問い合わせ】

静岡新聞社・静岡放送事業局 Tel. 054(284)8920 (平日午前9時から午後6時) Fax. 054(284)9031
三島市民文化会館 Tel. 055(976)4455 (午前9時から午後9時) Fax. 055(976)4458

【主催】静岡新聞社・静岡放送、三島市民文化会館 【共催】静岡県立静岡がんセンター 【特別協賛】スルガ銀行
【後援】三島市、三島市教育委員会